

北九州市 児童福祉施設等 第三者評価結果票

1 施設・事業所の概要

- | | |
|---------------|--------------------|
| (1) 事業者名(法人名) | 財団法人 鉄道弘済会 |
| (2) 事業所名 | 門司保育所みどり園 |
| (3) 所在地 | 北九州市門司区不老町二丁目2番25号 |
| (4) 電話番号 | 093-381-2002 |

2 評価実施日

平成18年1月12日

3 評価実施者

北九州市(北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会)

4 評価結果

総合評価

保育所はJR門司駅から歩いて15分ほど山手に上った住宅地の中にあります。近隣には大里公園、戸ノ上山があり、園外保育に積極的に出かけ、散策するなど自然に触れる体験が積極的に行われています。また日々子ども一人一人の健康状態を考慮しながら、乾布摩擦やマラソンなどの体力づくりに積極的に取り組んでおり評価できます。

ケース会議（事例検討）が実施され、話し合われた内容は保護者と連携して実践されるなど保育に反映されていますが、今後は計画的に適切な間隔での開催が望まれます。また、どのケースにおいても、保育実践の内容が分かるような記載の仕方を工夫すると更に良いと思われれます。

日々の保育では、温かな言葉づかいで穏やかに話をするなど優しい対応に心掛け、子どもの気持ちをくみ取り一人一人を受容する保育が展開されています。異年齢児交流の計画が策定され、週1回3歳児、4歳児、5歳児の3人1組のグループに分かれて活動するなど自然な交流が展開されています。食育にも力を注いでおり、玄関ホールでの給食のサンプルと使用した食材の実物の展示や子どもに好評な給食メニューのレシピ（給食献立カード）の配置、おいもの焼きやおにぎりづくりなどの様々なクッキング活動やベランダで食事を行うなどの食事スタイルの工夫などがなされており、子どもや保護者が食に関心を持つことができるような取り組みがなされています。

保護者との情報交換は、登降園時の会話を中心に全園児に対して個別連絡ノートで行われています。また個室の相談室が用意され、いつでも保護者と話ができる環境が整備されています。

地域の関係機関との連携においては、総合療育センターや子ども総合センターなどの専門機関と配慮を要する子どもの指導や対応について連携が図られていますが、今後は自治会や地域の団体、子育てサークルなど地域の関係機関へも積極的に働きかけを行い、連携が図られると更に良いと思われれます。

保育サービスの向上にむけて、保育所の運営主体である鉄道弘済会が設けている「鉄道弘済会 Go Go Kaizen 提案制度」に、職員が積極的に提案を行い、保育に反映されるなど熱心な取り組みがなされています。また平成15年度から自己評価が実施され、その結果は全職員に周知されています。

安全管理については、事故防止に関するマニュアルやチェックリストが整備され、適切に対応されています。特に玄関には防犯カメラが設置され、カメラの映像は事務室及び延長保育で使用する部屋で確認でき、また玄関は自動ロックとなっているなど徹底されており評価できます。

評価対象ごとの評価（概要）

評価対象	評価結果
<p>子どもの発達援助 一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。</p>	<p>保育理念、保育方針に基づき、体育プログラムによる体力づくりや異年齢児交流などが盛り込まれた独自の保育計画・指導計画が策定されています。毎月保育会議が開催され、必要な情報は全職員に周知されています。ケース会議（事例検討）が実施され、話し合われた内容は保護者と連携して実践するなど保育に反映されていますが、今後は計画的に適切な間隔での開催が望まれます。また、どのケースにおいても、保育実践の内容が分かるような記載の仕方を工夫すると更に良いと思われ</p> <p>健康管理や感染症のマニュアルが各保育室に常置され、子ども一人一人の状態に応じ適切に対応されています。また体力づくりのために乾布摩擦やマラソンなどの取り組みも行われており評価できます。嘱託医とは健康診断後の話し合いや必要に応じた電話相談など、密な連携が図られています。感染症流行時期には、関係機関やインターネットで得られた予防や対策などの情報を掲示・配布し、保護者に周知が図られています。アレルギー疾患の子どもについては、医師からの指示書をもとに四者協議（保護者、園長、保育士、管理栄養士）で除去対象食品や代替食品などが確認され適切に対応されています。</p> <p>玄関ホールには給食のサンプルと共に、使用した食材を展示したり、子どもに好評な給食のメニューのレシピ（給食献立カード）が自由に持ち帰ることができるように配置されるなど、子どもや保護者の食への関心を深める工夫がなされています。また毎日管理栄養士が各クラスを回り、子どもに言葉をかけながら喫食状況を把握しています。おいものお焼きやおにぎり、ハンバーグ、餃子、ホットケーキ、梅干づくりなどのクッキング活動や、ベランダで食事を行うなどの食事スタイルの工夫がなされており、食の楽しさを感じることができるよう取り組みがなされています。</p> <p>施設内外には子どもが手を挟み込まないようにドアや窓にストッパーをつけたり、殺菌庫を利用した玩具・遊具の消毒や寝具の清拭を定期的に行うなど安全・衛生管理に配慮がなされています。各保育室には畳コーナーが設置され、子どもがくつろいだり落ち着ける空間が用意されると共に、年齢に即した玩具や教材が用意され、自由に遊びを楽しむことができる環境も整備されています。また個室の図書室が設けられ、子どもが落ち着いた雰囲気の中で絵本を読むことができるように配慮されています。</p> <p>日々の保育では、温かな言葉づかいでおだやかに話をするなど優しい対応に心掛け、子どもの気持ちをくみ取り一人一人を受容する保育が展開されています。園庭では、ピーマン・きゅうり・ハツカダイコン・白菜・稲など多種多様な野菜が栽培され、園内ではクワガタムシ・かたつむり・イモリ・ウサギなどの小動物が飼育されており、子どもが身近に動植物と接する機会が設けられています。また園外保育に積極的に出掛け、近隣の公園や裏山を散策し自然に触れる体験が行われています。JR九州病院への慰問、門司駅での七夕飾りなど地域に根ざした活動も行われています。</p> <p>異年齢児交流は計画に基づいて、日常的に午睡や園外保育の時に展開され、特に週1回3歳児、4歳児、5歳児の3人1組のグループに分かれて様々な活動が行われて自然な交流がなされており評価できます。</p> <p>乳児保育においては、家庭との密接な連携のもと、保育士が優しく言葉掛けしながら子ども一人一人の発達に合わせて適切な対応がなされています。</p> <p>延長保育は、子ども一人一人に十分に配慮し、ゆったりとした雰囲気の中で行われ、子どもの状況については保育士間の引継ぎが適切に行われています。</p>

	<p>障害児保育は、総合療育センターなどの専門機関から助言を受けながら、全職員の共通理解のもと適切に対応されています。</p>
<p>子育て支援 子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取り組みなどを評価したものです。</p>	<p>保護者との情報交換は、登降園時の会話を中心に全園児に対して個別連絡ノートで行われています。これまでは保護者との個別面談は0歳児のみで行われ、1～5歳児においてはクラス懇談が実施されていましたが、今年度から全園児の保護者を対象に個別面談が計画されています。また個室の相談室が用意され、いつでも保護者と話ができる環境が整備されています。行事については、保護者の参加を促す取り組みが丁寧になされると共に、保護者会と協力して行われています。</p> <p>児童虐待については、着替えなどの際に身体の視診を行い、早期発見に努めています。対応マニュアルが整備され、子ども総合センターなどの関係機関だけでなく、鉄道弘済会独自の連携体制が構築されています。</p> <p>毎月1回園庭開放を実施し、屋外掲示板やホームページを通して参加が呼びかけられています。またいつでも子育て相談に応じることができるよう体制が整えられています。</p>
<p>地域住民や関係機関等との連携 地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。</p>	<p>さまざまな情報はクラスの掲示板に掲示するとともに、必要に応じて個別に配布するなどして保護者に周知が図られていますが、今後は地域の関係機関からも幅広い情報収集が望まれます。</p> <p>関係機関等との連携においては、総合療育センターや子ども総合センターなどの専門機関と配慮を要する子どもの指導や対応について連携が図られています。今後は自治会や地域の団体、子育てサークルなど地域の関係機関へ積極的に働きかけを行い、連携が図られると更に良いと思われれます。</p> <p>小学校との連携については、大里柳小学校2年生が総合学習の一環として来園し、園児との楽しい交流がなされています。また小学校職員との就学前の連絡会が開催されるほか、小学校職員による保育参観も行われています。他の保育所・幼稚園とは、今年度芋ほりを共に行い、来年度からは門司駅の七夕飾り製作を一緒に行う計画がなされており、今後一層の交流が深められることが期待されます。</p> <p>焼き芋大会、餅つき、夏祭り、バザーなどの行事の際には、屋外掲示板やホームページを活用して近隣住民へ参加が呼びかけられています。地域へのボランティア活動としては、4・5歳児が大里公園の清掃活動に取り組んでいます。</p> <p>実習生や保育体験、ボランティアの受け入れは、マニュアルに基づいてそれぞれの目的に応じたプログラムが提供されています。</p>
<p>運営管理 保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修などの取り組みがなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。</p>	<p>保育理念・基本方針は園内に掲示され、保護者や地域住民へは文書の配布やホームページへの掲載によって周知が図られています。</p> <p>保育サービスの向上にむけ、保育所の運営主体である鉄道弘済会が設けている「鉄道弘済会 Go Go Kaizen 提案制度」に、職員が積極的に提案を行い、保育に反映されるなど熱心な取り組みがなされています。平成15年度から自己評価が実施され、その結果は全職員に周知されています。</p> <p>守秘義務については、鉄道弘済会の個人情報保護方針が作成され、個人情報保護に関する園内研修を実施し、遵守の徹底に努めています。</p> <p>保護者への情報提供として、園だより・給食だよりが毎月、クラスだよりが行事などの際に発行されています。給食だよりは献立表に食育や衛生管理、子どもが好きな献立の紹介などが工夫して掲載されています。外部に対しては屋外掲示板を利用するとともに、保育所のしおりを配布し情報提供されています。またホームページは毎月更新され、幅広く情報提供が行われています。</p> <p>安全・衛生管理については、危機管理（不審者侵入・事故・災害・食中毒など）に関するマニュアルや事故防止に関する安全管理チェックリストなどが整備され、毎月適切に確認されています。玄関には自動ロックや防犯カメラが設置され、カメラの映像は事務室及び延長保育で使用する部屋で確認できるようになっており評価できます。</p>

